

令和6年度江東区立深川第五中学校経営方針

校長 代田 信之

I 本校の教育目標

パイオニア魂（元気・根気・勇氣）を根本に、繰り返し、自らの課題解決に挑戦する姿勢・態度を身に付けさせ、知・徳・体の調和ある生徒を育成するため、次の目標を設定する。

WE ARE PIONEERS

II 学校経営理念

「教育目標」を具現化し達成させる。そのためには、生徒の長所を伸ばし個々に応じたきめ細かい指導を実践し、保護者・地域から信頼され、期待に応えられるように、子どもたちがみんな輝く教育活動を展開する。

(1) 生徒の主体性を重視した教育活動

・生徒の活動が常に前面にあり、生徒にとって成就感や達成感を味わわせる教育活動を推進する。

(2) 公立学校としての使命

・学校・保護者・地域の三者一体となり生徒を育成し、地域に根ざした学校づくりを進め、将来の地域社会の担い手を育てる。

(3) 脚下照顧の姿勢

・常に自分の指導を省みて、生徒の意欲・資質を伸ばすよう工夫・改善に心がける。

III 目指す学校像

- 1 生徒がいきいきとして前向きに頑張る学校
- 2 保護者・地域に信頼され、期待に応える学校
- 3 教職員にとって働きがいがある学校

IV 目指す教師像

- 1 生徒の立場に立って考え、生徒から学べる謙虚さをもつ教師
- 2 生徒に公平に接し暖かさと厳しさをもつ教師
- 3 教育公務員として研修に励み、常に向上心をもつ教師

V 経営目標と方策

(1) 学習指導・・・「確かな学力の定着」

○生徒の基礎的・基本的な知識及び技能の定着状況を把握し、生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせる指導を展開する。

⇒ 定期考査や学力調査等を活用し生徒一人一人の学習状況を確実に把握するとともに、少人数指導、習熟度別授業や1人1台端末を活用した個に応じた指導を充実させる。

○学習指導要領に示された各教科等の育成を目指す資質・能力を育むために、授業改善を充実させ、教員の指導力を向上させる。

⇒ 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業づくりを定着させ、適正な学習評価を実施するため、教員の指導力を高める。

(2) 生活指導・進路指導・・・「豊かな心と健康な身体の育成」

○生徒に生命の大切さ指導するとともに、困難やストレスへの対処方法を身に付けさせる指導を行う。

⇒ 各教科の授業で、自他の生命を尊重する教育を重視するとともに、DVD教材等を活用した「SOSの出し方に関する教育」を推進し、信頼できる大人に助けを求めることの大切さについて、計画的に指導する。

- 「いじめ総合対策【第2次・一部改訂】」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を行うとともに、問題行動や不登校への組織的な対応を行う。
 - ⇒ 学校いじめ防止基本方針に基づき、学校いじめ対策委員会を組織する。年3回、アンケート調査やスクールカウンセラー等と連携した教育相談を実施する。軽微ないじめも見逃さない組織的な校内体制を構築する。
- 社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けさせるため、キャリア教育を推進する。
 - ⇒ 「キャリアパスポート」を活用し、各教科の特質を踏まえつつ、学校の教育活動全体を通じて、基礎的・汎用的能力を育む。

(3) 学校運営

- 「東京都子ども基本条例」の理念に基づいて信頼される学校づくりに向け、教職員の人権意識を高め、「体罰0」をはじめとする服務事故や学校事故等を起こさない校内体制を構築する。
 - ⇒ 「使命を全うする！教職員の服務に関するガイドライン～」を用いた服務事故防止研修を年2回以上実施する。
 - ⇒ 生徒の自主性を育むための校則の見直しを行う。
- 豊かな心や創造性の育成に向け、カリキュラム・マネジメントを円滑に進める。
 - ⇒ 豊かな心や創造性の育成に必要な教育内容を教科等横断的な視点で組み立て、組織的かつ計画的に行う。
- 特別支援教育に対する教職員の理解を深め、特別な支援を必要とする生徒に対する教育を充実させる。
 - ⇒ 特別支援教育コーディネーターや特別支援教室巡回指導員との連携を組織的に行うとともに、特別支援教育の理解と指導力の向上を図る。
- ライフ・ワーク・バランスの実現に向け、教員一人一人の心身の健康を保持できる職場環境を整備する。
 - ⇒ 業務の見直しや学校を支える人員の確保と体制の整備を通じて、教職員の超過勤務を縮減する。

(4) 特別活動・その他・・・「特別活動の活性化・委員会活動や部活動の充実」

- 自主的、実践的な活動を通して、学校生活上の諸課題を解決する資質・能力を育成する。
 - ⇒ 学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うことを通して、学校行事の企画運営に生徒を積極的に参画させる。
- 「社会に開かれた教育課程」の理念に基づき学校や地域への帰属意識を高める取組を通して地域や社会生活をより良くしようとする態度を養う。
 - ⇒ 生徒会活動では、地域と連携・協働することで、パイオニア活動や地域の人々との交流など社会貢献や社会参画に関する活動を充実させる。
- 生徒の自主的、自発的な活動の場として、部活動を充実させる。
 - ⇒ 部活動の在り方に関するガイドラインを踏まえ、指導や運営に係る校内体制を構築する。

(5) 能力開発（OJT、研究・研修、自己啓発）

- 東京都教員人材育成基本方針及び教員育成指標に基づいたOJTを推進し、継続的かつ組織的な人材育成を行う。
 - ⇒ 主幹教諭、主任教諭を中心とした教科等横断的なOJTを推進する。
- 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善を進め、全教員が学習指導力を高められるようにする。
 - ⇒ 校内研究の充実を図るとともに、教員が指導力向上に向けて相互に切磋琢磨し合う環境をつくる。